セット品番

F940EHU 〈一般地仕様〉
F940KEHU〈寒冷地仕様〉

アンダーシンクタイプ浄水器

クリンスイ 据付説明書

給水一次側配管との接続および検査は管工事業者に依頼してください。
器具をシステムキッチンに取り付ける作業は、システムキッチン取付設置業者で実施することができます。

●据付される方へお願い
この器具を安全に正しく設置いただくために、「据付説明書」を必ずお読みください。

1．安全上の注意

ここに示した安全上の注意事項は、お守りいただかない場合、重大な結果に結びつく可能性があります。
いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

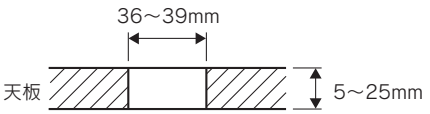
●次の表示は、表示内容をお守りいただかず、誤った取り扱いをした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠注意	軽傷を負ったり、周辺の家財に損害を与える可能性のある内容を表します。

●次の表示区分は、お守りいただく内容を説明しています。

指示	必ずしてほしい『指示』内容を表します。	禁止	してはいけない『禁止』内容を表します。	分解禁止	してはいけない『分解禁止』内容を表します。

⚠注意

指示	●配管工事はすべて建築基準法、水道法、各地域の条例に準じて行う。
指示	●水道水の水質基準に適合した水を使用する。 温泉水・井戸水など異物を多く含む水には使用しない。 体調を損なうおそれがあります。
禁止	●凍結のおそれがある場所には「一般地仕様の水栓」を設置しない。 部品が破損し、水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります。
指示	●ホーロー、天然石のシンク天板に穴を開ける場合は、キッチンメーカーに相談する。 カウンターの適合穴径は36～39ｍｍ、天板厚は5～25ｍｍです。 無理に穴を開けて取り付けると、家財を傷付けるおそれがあります。 
	●止水栓取付箇所や給水・給湯管との接続箇所は、点検口を設けるなど点検しやすい状態にする。 点検ができないと万一漏水発生時には発見が遅れて家財などを濡らすおそれがあります。

⚠注意	
指示	**●必ず同梱の各部品をセットして使用する。** 部品をセットし忘れたり純正以外の部品を使用すると水漏れの原因となり、家財などを濡らすおそれがあります。
	●給湯器の設定温度は60℃以下で使用する。 高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。 60℃を超える高温で使用すると、水栓が破損する場合があります。
分解禁止	**●水栓本体、ホース、浄水カートリッジは分解しない。** 破損してやけどやけがをしたり、水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります。
禁止	**●製品に強い力や衝撃を与えない。** 破損して水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります。
	●吐水口を手やふきんなどで触れたり、シャワーヘッドを水中に没させない。 雑菌が繁殖するおそれがあります。
	●浄水カートリッジを落としたり、強い力や衝撃を与えない。 破損・変形し、十分な性能を発揮できなくなるおそれがあります。
	●湯水を逆に配管しない。 水を出そうとしても湯が出て、やけどをするおそれがあります。

2．給水・給湯条件

①本器具の使用可能給水圧力（静水圧）は0.75MPa以下、常用使用圧力（動水圧）は0.07～0.35MPaです。

> ⚠ **給水圧力（動水圧）が設置条件0.35MPaを超える場合、市販の減圧弁で0.2MPa程度に減圧してください。**

②給水圧力は使用する給湯器の種類により以下の様に求めます。

（1）瞬間給湯器との組み合わせ

（設定条件　水温：25℃　給湯器温度調節：高温　吐水温度：42℃　ハンドル全開）

〔比例制御式〕最低給水圧力＝A＋0.10MPa（動水圧）

（2）貯湯式給湯器との組み合わせ

最低給水圧力＝A＋0.07MPa（動水圧）

〔A＝（給湯器の最低作動水圧）＋（配管圧力損失）〕

③湯を使用する際は、給湯器の着火を確認してご使用ください。

④給水・給湯の水圧はできるだけ同じになるようにしてください。

（極端に圧力が異なる場合、水流音が大きくなることがあります）

（給湯の水圧が高い場合やけどをするおそれがあります）

⑤給湯器からの配管は最短距離で配管し、配管には断熱材を巻いてください。

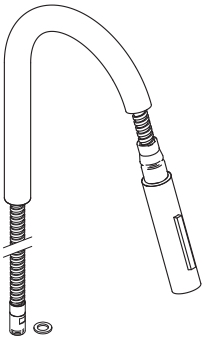
⑥適正な能力の給湯器を選ばないと、適正な吐水量および吐水温度が得られないことがあります。

⑦通水検査をしていますので水栓内に水が残っている場合がありますが、製品には問題ありません。

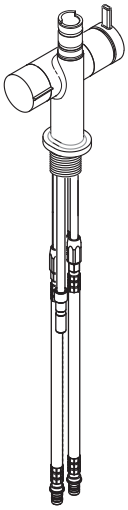
3．梱包部品

最初に下記内容部品がそろっているかご確認ください。

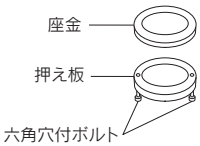
吐水パイプ　1本
（ホース1本･パッキン1個付）



水栓本体　1本
（シャワーホースガイド付）



締付セット　1式



逆止弁ソケット　2個
（パッキン2個付）
※寒冷地仕様は逆止弁なし



IN側銅管カプラー
1個



クイックファスナー　2個



OUT側銅管カプラー
1個
※寒冷地仕様は逆止弁なし



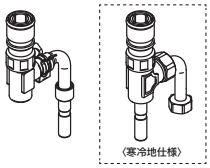
クイックファスナーロック
2個



ホーススストッパー　1個



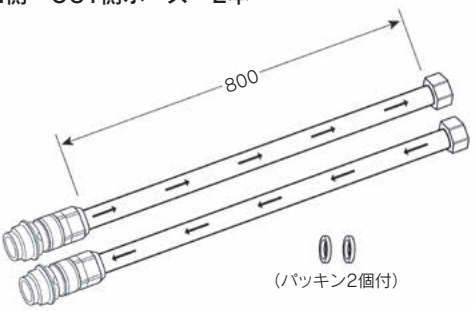
h型ホースジョインター
1個



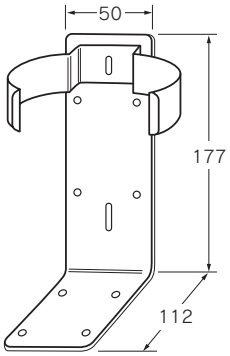
メンテナンス工具　1個



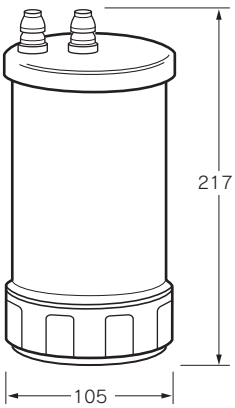
IN側・OUT側ホース　2本



架台　1個
（皿ビス4本付）



浄水カートリッジ 1個(HUC17021)



説明書入り袋　1式

- 取扱説明書(保証規定付き)
- 据付説明書
- ホース用結束バンド(ホース用 小1本)
- 両面テープ 2枚
- バイパス管 1個

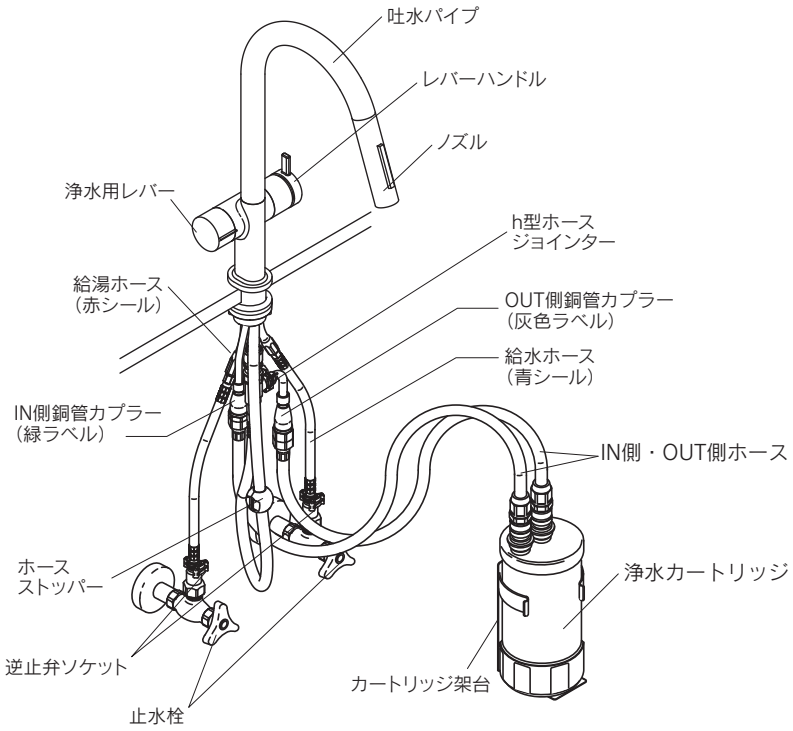


4．器具の据付

※管工事業者に依頼してください。

4-1．据付場所の選定

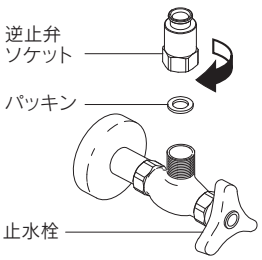
- 水栓本体は、シンク下で他の配管にぶつからない場所に設置する。
- 水栓本体は、止水栓から給水、給湯ホースで接続できる場所に設置する。
- 架台は、浄水カートリッジを手前に引き出して容易に交換できる場所に、ビスや両面テープで重さを支えられる場所に設置する。



4-2．水栓の据付方法

①スパナ（23mm）で逆止弁ソケットを止水栓に接続する。

逆止弁ソケットは、手でいっぱいに締め付けた後、
スパナで締め付けてください。
（適正トルクの目安:15～20N・m）



⚠注意

- 水栓の配管接続部はテーパーネジに接続しないでください。
（接続部がゆるみ、水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります）
- パッキンが入っていることを確認してください。
（パッキンが入っていないと水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります）
- ゆるみがないように確実に締め付けてください。
（ゆるみがあると水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります）

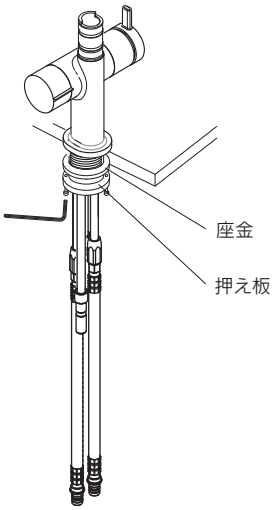
②水栓取付用の穴に水栓本体を差し込む。

⚠注意

- 水栓取付用の穴の周囲の汚れやゴミを取り除いてください。
  （汚れやゴミがあると、本体側パッキンとシンク天板のすき間からの水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります）
- 水栓取付用の穴の中央に設置してください。
  （水栓取付用の穴と水栓本体がずれて設置されると水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります）

③水栓本体に座金、押え板を通し、締め付けて固定する。

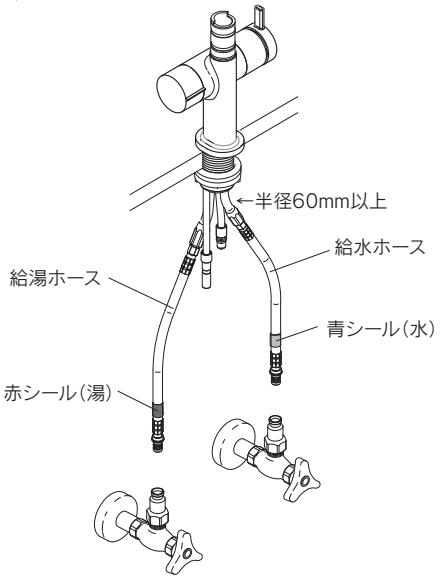
押え板を締め付けた後、六角穴付ボルトを六角レンチ（4mm）で、**交互に均一になるよう確実に**締め付ける。



⚠注意

- ゆるみがないように確実に締め付けてください。
  （ゆるみがあると水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります）
- 水栓正面位置を調整する際は、必ず六角穴付ボルトをゆるめてから動かしてください。
  （水栓が破損するおそれがあります）

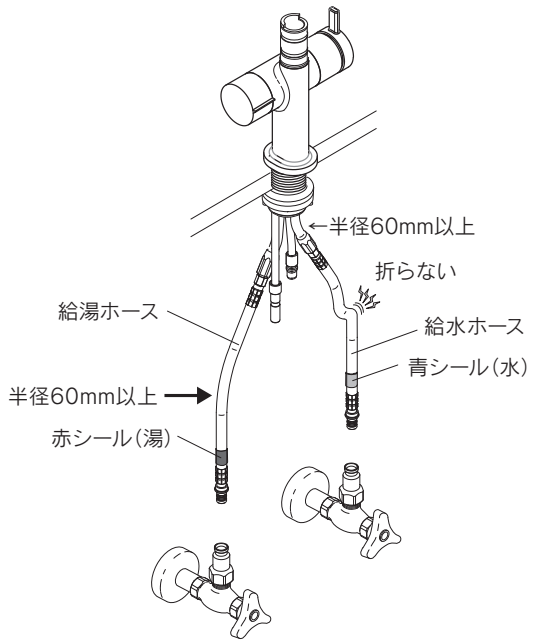
④給湯パイプを向かって左側、給水パイプを向かって右側にゆるやかに曲げる。（給水栓が左側、給湯栓が右側の場合は取り付けが逆になります）

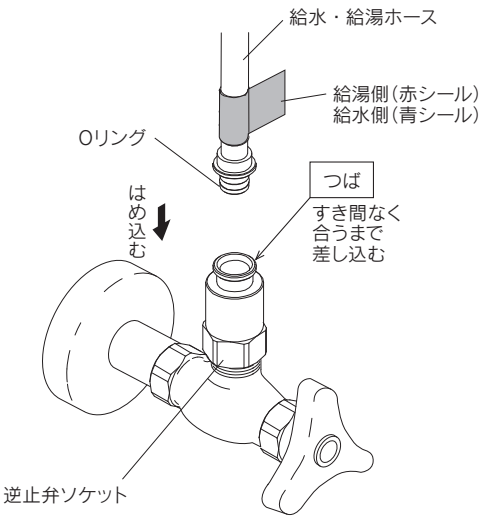


⚠注意

- 給水、給湯パイプは半径60mm以下に曲げないでください。
- 給水、給湯パイプの根元に力がかからないように曲げてください。
- 給水、給湯パイプを必要以上の力で曲げて折らないように注意してください。
  （亀裂や破損が原因で水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります）
- 給水、給湯パイプはなるべくゆるやかに曲げてください。
  （急に曲げたり折ったりすると、亀裂や破損が原因で水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります）
- 給水、給湯パイプを接触させないでください。
- 給水、給湯パイプを水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないでください。
  （亀裂や破損が原因で水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります）
- 給水、給湯パイプを無理に引っ張らないでください。
  （亀裂や破損が原因で水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります）

⑤給水・給湯ホースを止水栓の取り出し芯に合うようにゆるやかに曲げ、逆止弁ソケットに差し込む。





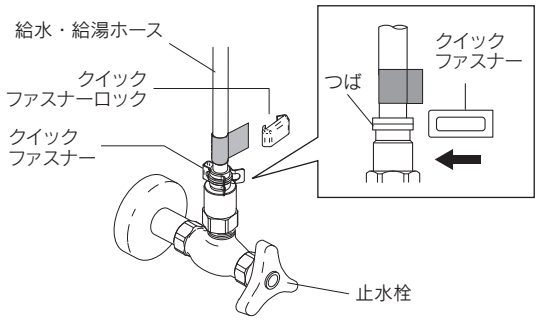
⚠注意

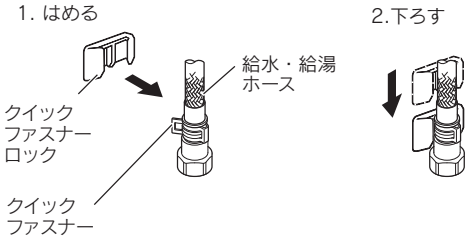
- 給水、給湯ホースは半径60mm以下では曲げないでください。(亀裂や破損が原因で水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります)
- 給水、給湯ホースの根元に力がかからないように曲げてください。
  (亀裂や破損が原因で水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります)

⚠注意

- 給水、給湯ホースは逆止弁ソケットに対し垂直に差し込んでください。
- 差し込む際は先端のOリングを持たないでください。
- 先端にOリングが付いていることを確認してください。
  (リングが入っていないと水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります)
- 湯、水を逆に配管しないでください。
  (水を出そうとしても、湯が出てやけどをするおそれがあります)

⑥クイックファスナーを給水・給湯ホースとアダプターのつばに確実にはめ込んだ後にクイックファスナーロックをはめ込む。





⚠注意

- 給湯ホースが向かって左側、給水ホースが向かって右側に取り付けされているか確認してください。
  (やけどをしたり、浄水器破損のおそれがあります)
- Oリングが入っていることを確認してください。
  (リングが入っていないと水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります)
- 給水、給湯ホースを上に引っ張って抜けないことを確認してください。
  (クイックファスナーがしっかりはまっていないと水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります)

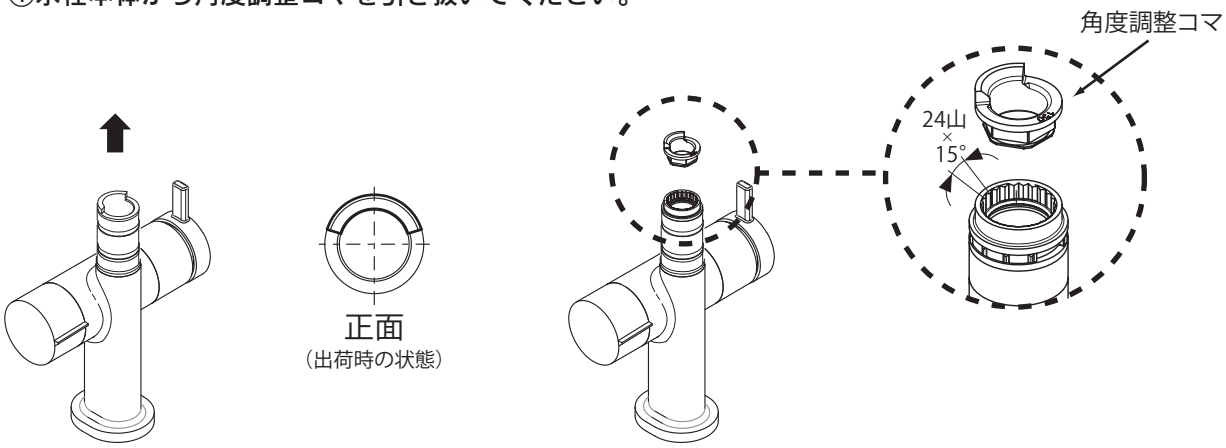
4-3．回転角度方向の調整

吐水パイプの回転角度方向を調整する場合は、吐水パイプ差し込み前に角度調整コマで角度を調整してください。

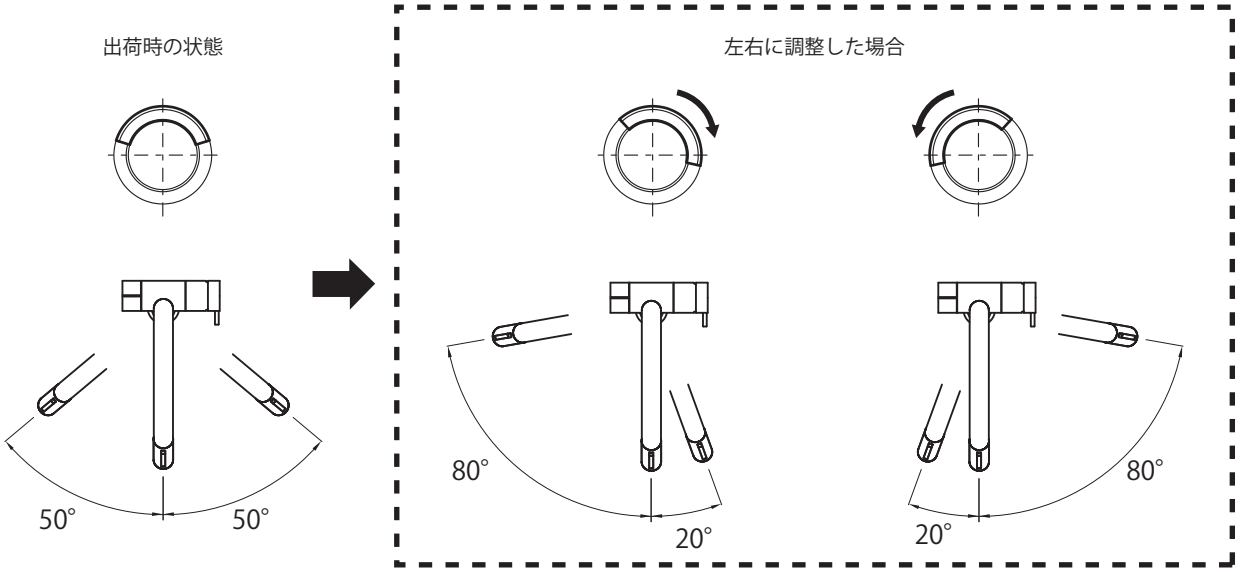
⚠注意

●回転規制角度を変更する場合は、水栓本体を天板に固定した状態で作業してください。
・ 水栓本体の破損・変形、家財を傷付けるおそれがあります。
●作業を行う場合は、保護具を使用してください。
・ ケガをする恐れがあります。

①水栓本体から角度調整コマを引き抜いてください。



②角度調整コマを差し込み回転角度方向を変更してください。
（ひと山あたり15°の調整が可能です。）

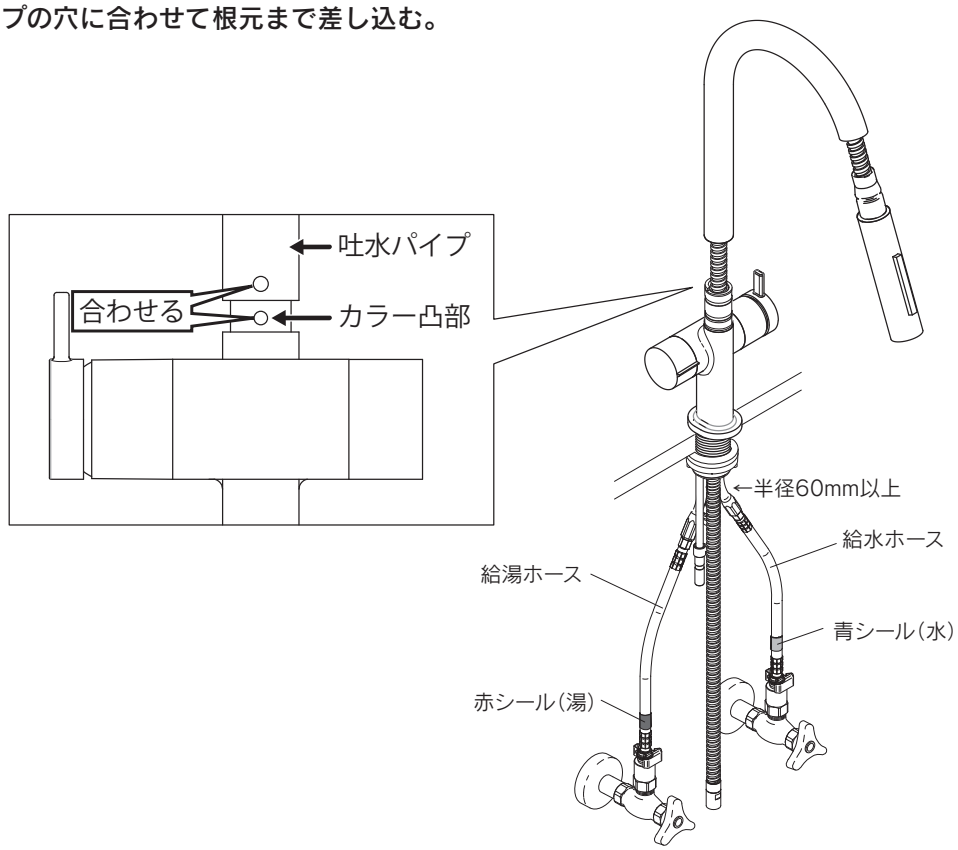


4-4．シャワーホースの取付

①吐水パイプb側から出したシャワーホースを本体の
　シャワーホースガイドの穴に入れる。

②吐水パイプを正面にして本体シャワーホースガイドに
　シャワーホースを通す。

③図のように本体カラー凸部が水栓背面にあることを確認し
　吐水パイプの穴に合わせて根元まで差し込む。



⚠注意

- この溝は吐水パイプの回転角度制限をしており、回転角度は水栓中央から左右へ各50˚です。
  左右へ各50˚以上回さないでください。
  （回転規制機構が破損するおそれがあります）

〈一般地仕様の場合〉

⑤ノズルを吐水パイプにセットした状態でスパナ(22mmと13mm)でシャワーホースをh型ホースジョインターに接続する。

(適正トルク：7 ～ 8N・m)

⚠注意

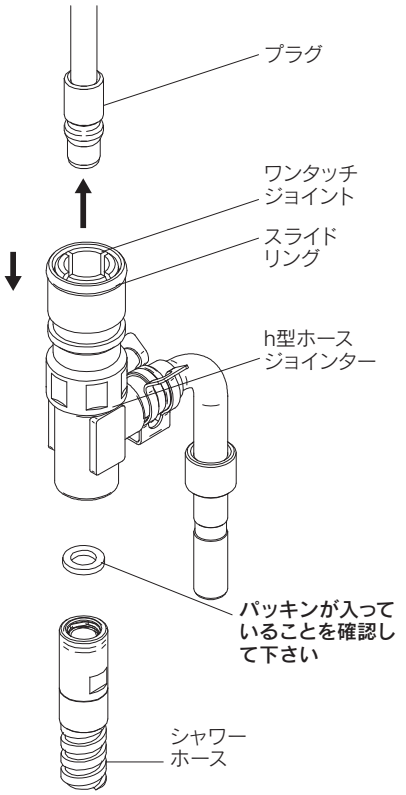
- パッキンが入っていることを確認してください。
  (パッキンが入っていないと水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります)
- ゆるみがないように確実に締め付けてください。
  (ゆるみがあると水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります)
- シャワーホースはねじらずに締め付けてください。
  (亀裂や破損が原因で水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります)
- 必ずh型ホースジョインターとシャワーホースを接続してからプラグに差し込んでください。
  (プラグを差し込んでからシャワーホースを接続するとシャワーホースがねじれて水漏れ等の原因になるおそれがあります)

⑥スライドリングを下げてワンタッチジョイントをプラグに差し込む。

⚠注意

- しっかり差し込まれているか確認してください。
  (しっかり差し込まれていない場合、水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります)

⑦取り付けた後、ノズルを引き出し、シャワーホースに引っかかりなどがなく、スムーズに引き出せるか確認してください。



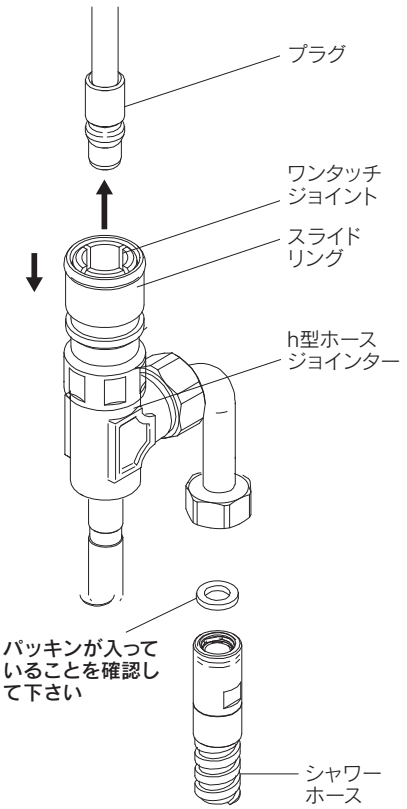
〈寒冷地仕様の場合〉

⑤ノズルを吐水パイプにセットした状態でスパナ(19mmと13mm)でシャワーホースをh型ホースジョインターに接続する。

(適正トルク：7 ～ 8N・m)

⚠注意

- パッキンが入っていることを確認してください。
  (パッキンが入っていないと水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります)
- ゆるみがないように確実に締め付けてください。
  (ゆるみがあると水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります)
- シャワーホースはねじらずに締め付けてください。
  (亀裂や破損が原因で水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります)
- 必ずh型ホースジョインターとシャワーホースを接続してからプラグに差し込んでください。
  (プラグを差し込んでからシャワーホースを接続するとシャワーホースがねじれて水漏れ等の原因になるおそれがあります)



⑥スライドリングを下げてワンタッチジョイントをプラグに差し込む。

⚠注意

・しっかり差し込まれているか確認してください。
（しっかり差し込まれていない場合､水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります）

⑦取り付けた後、ノズルを引き出し、シャワーホースに引っかかりなどがなく、
スムーズに引き出せるか確認してください。

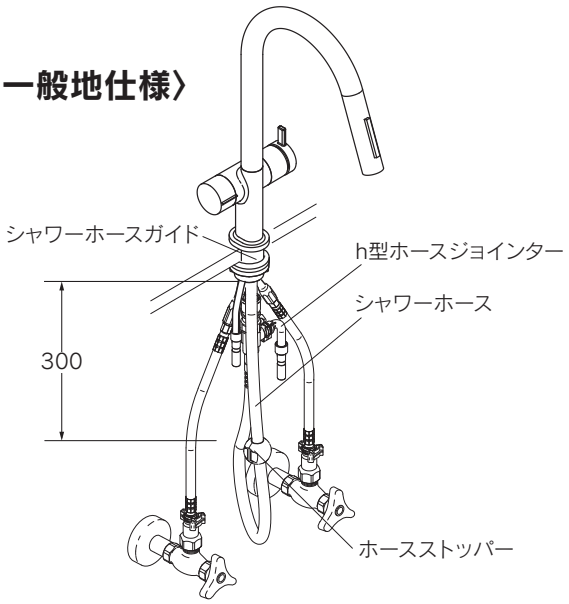
4-5．ホーストッパーの取付

ホーストッパーをシャワーホースガイド端部から300mmの位置に取り付ける。

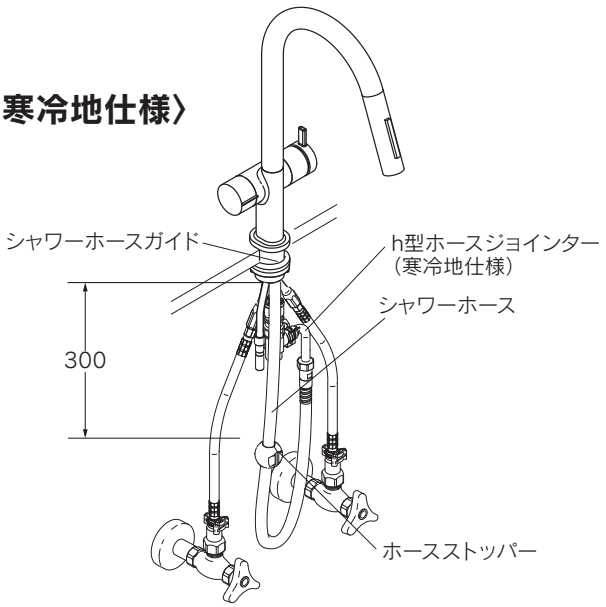
⚠注意

・設置後、シャワーホースおよびホーストッパーが周りの銅管に干渉しないかご確認ください。干渉する場合、銅管を干渉しない方向へ曲げてください。
また、シャワーホースがスムーズに引き出せることを確認してください。

〈一般地仕様〉



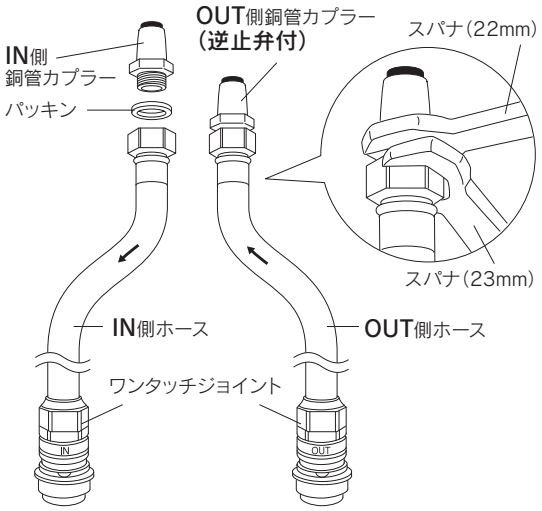
〈寒冷地仕様〉



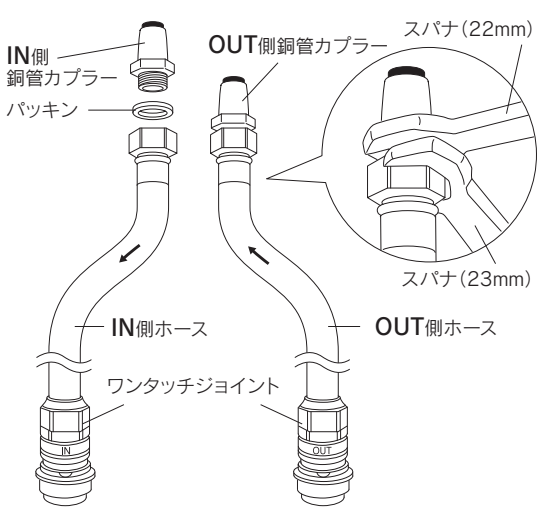
4-6. 浄水器側配管接続

①パッキンをIN側･OUT側ホースの袋ナットに挿入し、スパナ（22mmと23mm）でIN側銅管カプラー、OUT側銅管カプラーを取り付ける。
（スパナで確実に取り付けてください。適正トルクの目安：7～8N・m）

〈一般地仕様〉



〈寒冷地仕様〉

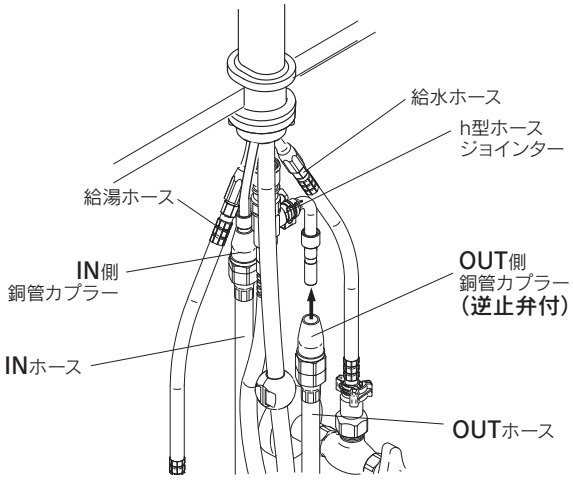


⚠注意

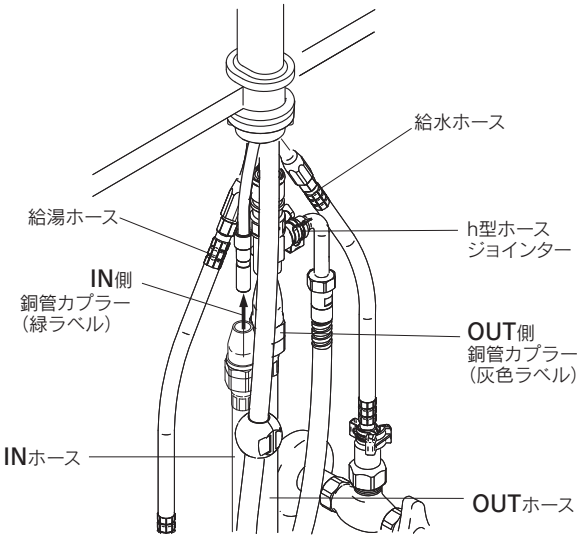
- パッキンが入っていることを確認してください。
（パッキンが入っていないと水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります）
- ゆるみがないように確実に締め付けてください。
（ゆるみがあると水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります）

②IN側・OUT側ホースの付いた銅管カプラーを水栓の銅管に差し込む。

〈一般地仕様〉



〈寒冷地仕様〉

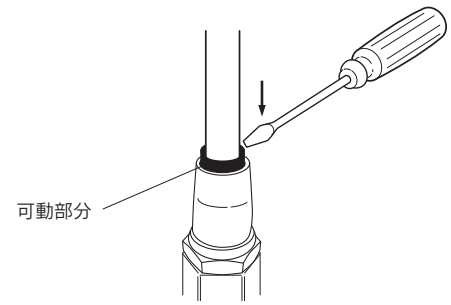


⚠注意

- OUT側銅管カプラー（逆止弁付）は必ずOUT側ホースに取り付けてください。
  （取付位置を間違えると浄水が出ません）
- 銅管カプラーの差し込みは、銅管にマーキングしてある 黒線のところまで 行ってください。
- 銅管カプラーの差し込みは、 突き当たるまで確実に 行ってください。
- 銅管の切断はしないでください。
- ホース矢印が銅管の矢印と 同じ向き であることを確認してください。

〈一般地仕様・寒冷地仕様 共通〉

③誤接続をした場合、カプラー先端の黒い部分をドライバー等で下に押し込んで外し、もう一度②と同じ要領で接続する。

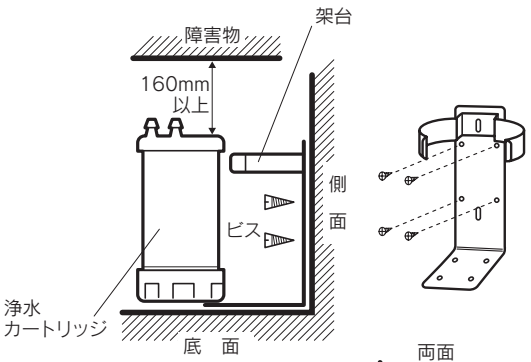


4-7．浄水カートリッジの取付方法

■架台の据付方法

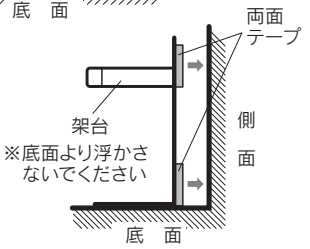
〈ビス止めの場合〉

シンク下が木製の場合、付属のビス(4本)で固定する。
(木材が薄い場合には芯材のあるところに固定してください)



〈両面テープの場合〉

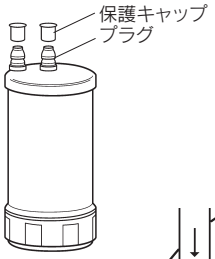
ステンレス、ホーローなど、ビス止めが不可能な場合に使用する。
(接着面の油分、水分、ほこりをよく除去し、架台をシンク下の底面に合わせ、側面に強く押さえて固定してください)



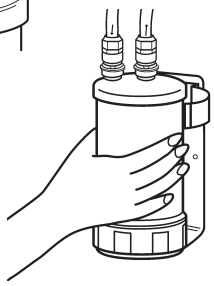
■浄水カートリッジの取付方法

①プラグ先端の保護キャップを外す。
②シールとスライドリングの色を合わせて確実に接続する。
③架台に浄水カートリッジを固定する。

- ホースが邪魔になる場合には結束バンドで固定ください。ただしバンドは締めすぎないように注意してください。







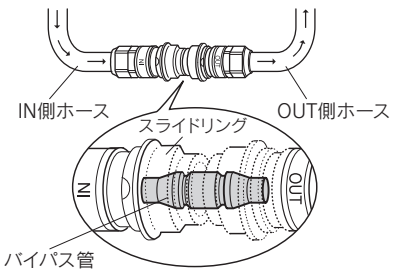
⚠注意

- ワンタッチジョイントの接続はプラグがいちばん奥まで差し込まれているか、正しく接続されているか、再度確認してください。
  (水漏れにより家財などを濡らすおそれがあります。間違って接続した場合、黒い水[活性炭]が出たり破損や水漏れの原因になります)
- 浄水カートリッジを固定する際は、ホースが折れ曲がったりねじれたりしないようにしてください。またホースや浄水カートリッジが給湯配管に触れないようにしてください。
  (破損や水漏れの原因になります)

★ご使用開始まで時間がかかる場合

付属部品「バイパス管」を接続してください

- お客様が、実際にご使用になるまで時間がかかる場合、浄水カートリッジは接続せず、バイパス管でホースを接続して通水テストを行ってください。

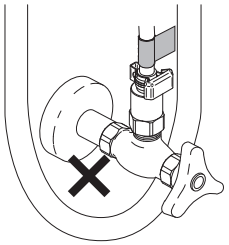


5. 据付後の点検

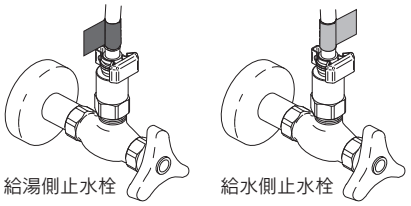
※管工事業者に依頼してください。

①シャワーホース引き出しの確認

- シャワーホースが止水栓などに、引っかからないように施工してください。
- シャワーホースを出し入れしたとき、止水栓などに引っかかり、引き出せなくならないか確認してください。

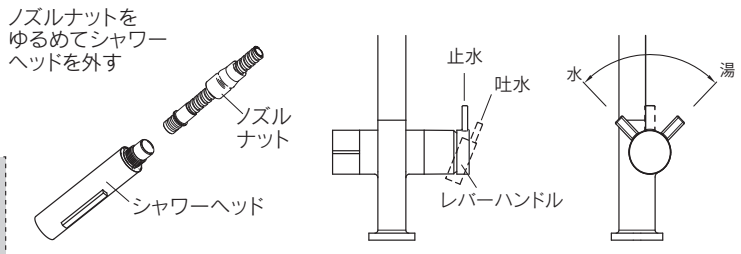


②給水・給湯側止水栓を開ける。



③配管内を洗浄する。

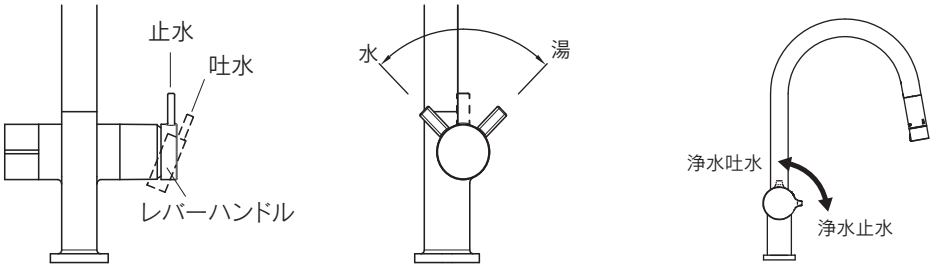
- ノズルを取り外してください。
- シャワーホース先端をシンクの中まで引き出してください。
- 浄水カートリッジに水を流す前に、レバーハンドルで湯、水を十分に流してください。



⚠注意

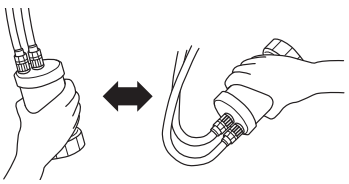
- 配管内洗浄時は浄水用レバーを使用しないでください。(早期目詰まりの原因になります)
- 配管内を洗浄する際は必ずノズルを取り外して作業を行ってください。
  切替レバーの故障の原因となります。

④ノズルを取り付けた後、レバーハンドルを湯・水の各位置で吐水・止水しながら繰り返し操作して配管接続部の水漏れがないことを確認する。また、浄水用レバーにおいても同様に確認する。さらに、シャワーへの切替もスムーズに行えることを確認する。



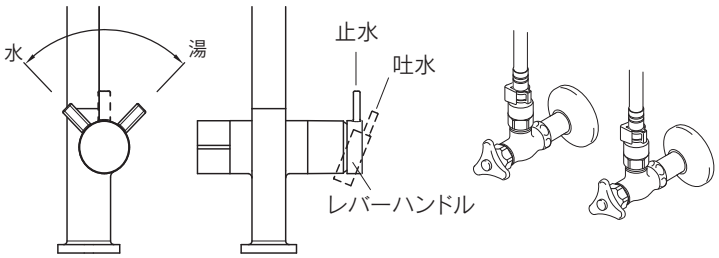
⑤浄水カートリッジの空気を抜く。〈浄水カートリッジを接続している場合〉

- 浄水の水切れを良くするため、浄水を流しながら浄水カートリッジを逆さにして数分間振って空気を抜いてください。



⑥温度調整・流量調整

- 「給水・給湯条件」を再確認の上、レバーハンドルを混合水の位置で全開にして、適温・適量が得られるように止水栓で調整してください。



⚠注意

- 給湯器が瞬間型の場合、吐水量が少ないと給湯器が着火しないことがあります。

6．水抜き方法

凍結が予想される場合、水抜きを行ってください。
また、お客様にも水抜き方法をご説明ください。

〈水抜き栓付止水栓を使用する場合〉

①配管部の止水栓を閉める。
　通水が止まります。

②浄水用レバーを開け、レバーハンドルを水側いっぱいに回し開ける。

③ノズルをシンク側に300mm引き出す。

④洗面器など水を受ける容器を用意し、カートリッジからOUT側ホース、IN側ホースの順に外す。

⑤IN側ホースへバイパス管を接続し、ホース内の水を抜く。

⑥水側の止水栓の水抜栓を開けて水を抜く。

⑦レバーハンドルを湯側いっぱいに回す。

⑧IN側ホースからバイパス管を抜きOUT側ホースにバイパス管を接続し、ホース内の水を抜く。

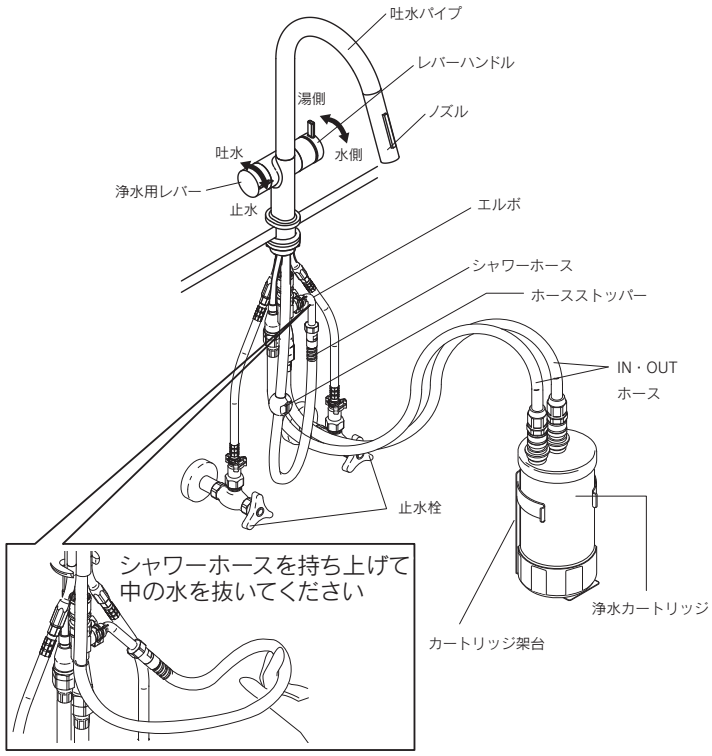
⑨シャワーホース、エルボを持ち上げ、シャワーホース内の水を抜く。

⑩湯側の止水栓の水抜栓を開けて水を抜いた後、OUT側ホースのバイパス管を外す。

⑪湯、水の**水抜栓を閉める**。

⑫浄水カートリッジをビニール袋などに入れて密封し、冷蔵庫などの凍結のおそれがない場所に保管する。

⑬水栓の浄水用レバーとレバーハンドルを閉める。



7．最終点検

- □ シャワーホースを引き出したとき、引っかかりはないですか？
- □ 配管内の洗浄を実施しましたか？
- □ 水漏れはないですか？
- □ 温度はレバーハンドルが混合水の位置で、適温ですか？
- □ 流量は適切ですか？
- □ シャワーへの切替はスムーズにできましたか？
- □ 寒冷地仕様の場合：水抜き栓を閉めましたか？
  また、お客様に水抜き方法の説明をしましたか？
- □ 水栓本体は押え板で確実に締め付けられていますか？
- □ この据付説明書は「取扱説明書」、「バイパス管」とともにお客様にお渡しして、
  大切に保管していただくように説明してください。
  手渡しできない場合、据付終了後、製品の近くに置いてください。

三菱ケミカル・クリンスイ株式会社

製品に関するお問い合わせは下記までお願いします

クリンスイサービスセンター U係

0120-328-432

受付時間／平日10：00～17：00(土・日・祝日10：00～16：00)

© MITSUBISHI CHEMICAL CLEANSUI CORPORATION 2026